

平成27年度決算にかかる事務事業に対する提言

所管委員会	事業名	判定理由・提言
総務常任委員会	行政区自治交付金事業	<p>市実施／内容・規模見直し・市実施／手法見直し 湖南省行政区自治交付金交付要綱第3条にあるゴミステーションの新設や消火栓器具等の新設については、自治交付金事業ではなく別事業として市が行うべき事業と考える（維持管理は除く）。また敬老会事業については、出席者、欠席者共に平等に権利を有するものであるため、出来る限りの配慮を行う事。</p>
	地域まちづくり協議会交付金事業	<p>市実施／現行通り、拡大 まず、前年度の事業評価に対する対応がなされていない。今回の評価は地域まちづくり協議会活動が盛んに行われている現状に混乱を生じさせないために、ほぼ現行どおりの評価としているが、湖南省地域まちづくり協議会条例第4条にあるように協議会の役割を活動の主とし、区、自治会の役割とは明確に住み分けする必要がある。また、協議会の組織は区、自治会の役員を主とするものではなく、法人及び各種団体との連携も強化し、本来の組織化に努める事。</p>
	まちづくりセンター指定管理事業	<p>市実施／手法見直し 出張所庶務における文書の受け渡しについては、湖南省出張所庶務規則第3条「出張所で預かった文書及び物件は、本庁へ受け渡しするものとする」に従って実施すべきであり、指定管理化に伴う住民サービス低下ではなく住民サービス向上につながるよう取り組むべきである。個人情報取り扱いや秘密の取り扱いなど安全面に問題が生じる場合は、規則の見直しを図り、取り扱えるもの、扱えられないものなどを例に挙げ、明確化した上で住民に周知を行うこと。また、センター長業務に対する負担の配慮や業務研修などのバックアップ体制の充実を求めます。</p>
福祉教育常任委員会	特定健診事業	<p>市実施／現行通り、拡大 市民の命と健康を守り、医療費の削減を図る大切な事業である。 （今後の課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診率向上のため、市民が気軽に受診できる方法の工夫（会場を増やす、コンビニやイベント会場の活用等） ・ 重症化予防のための積極的支援 ・ 国の予算的裏付けが必要

平成27年度決算にかかる事務事業に対する提言

所管委員会	事業名	判定理由・提言
福祉教育常任委員会	学校図書館支援センター推進事業	<p>市実施／内容・規模見直し 読書離れの傾向にある現在、子どもたちに「読書に親しみ、読書の楽しさを習慣づける」とともに、学習の基礎となる読解力を身に着け、学力向上を目指す重要な事業である。徐々に効果も出てきている。</p> <p>(今後の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館図書標準」の達成率を46.1%へ改善（現在30.7%） ・図書購入費の増額 ・司書の常勤化 ・教員や児童生徒が操作しやすいシステムへの改善 ・図書を身近に感じられるような取り組みの拡大 ・義務教育の一環としての国の交付事業の活用
産業経済常任委員会	公園維持管理事業	<p>市実施／現行通り、拡大 都市公園…運営を委託しているものであるが高齢者の健康増進を目的としたグラウンドゴルフ利用者等からの要望の声も多く夏と冬の開園時間については考慮すべき点と指摘する。</p> <p>地域ふれあい公園…現在市内に在住の子どものいる世帯にとって地域ふれあい公園の環境や遊具の安全性は重要な問題である。また市内に引っ越しを考える世代にとっても検討材料の重要なポイントでもある。人口増を期待するためにも必要。</p> <p>28年度より遊具の安全を確認できるようにプラスチック製プレートに交換するなど工夫をしてもらっている点は評価に値する。子どもの安全安心をさらに進めるためにも個別の遊具等の安全を確認できるよう台帳の作成が望ましい。また地域においても台帳の保管と安全確認が必要であると考え。上記の理由から今後の予算と事業の拡充を期待する。</p>